

「支え、支えられ自分らしく生きる」

県民公開講座

申込不要
入場無料

開催日

令和元年9月29日(日)

午前9時40分～午後12時 (受付 午前9時～)

会場

アピオ甲府 吉兆の間(1F)

テーマ

支え 支えられて、自分らしく最期まで
地域で「生きる」「暮らす」

【座長】

■ 長田在宅クリニック院長

長田 忠大 氏

■ 山梨県立大学看護学部准教授

泉宗 美恵 氏

【コメンテーター】

■ 日本在宅ホスピス協会 会長

小笠原内科・岐阜在宅クリニック 院長

小笠原文雄 氏



【スケジュール】

9:40～9:50 シンポジウム趣旨説明ほか

9:50～11:05 シンポジスト発表

11:05～11:15 休憩

11:15～12:00 意見交換

【コメンテーター・シンポジスト・参加者による】

※ 手話通訳があります。

【シンポジスト】

■ マギーズ 東京・センター長

マギーズ 白十字訪問看護ステーション
統括所長

秋山 正子 氏



■ ふじ内科クリニック院長

内藤いづみ 氏



■ 甲府市福祉保健部

健康支援センター所長・保健所長

古屋 好美 氏



■ 甲府市上小河原町自治会 会長

込山 雅秀 氏

■ 社会学者 東京大学名誉教授
認定NPO法人WAN理事長

上野千鶴子 氏



菅野勝男 撮影

【お問合せ先】

公益社団法人山梨県看護協会 (一瀬・三井)

第22回日本在宅ホスピス協会全国大会 in 山梨事務局

住 所 : 〒400-0807 山梨県甲府市東光寺2-25-1

TEL : 055-226-4288 / FAX : 055-222-5988

E-mail : hha2019@yna.or.jp

県民公開講座に参加して、 ご自身のテーマとして考えてみませんか？

地域包括ケアシステムの実現に向けて、障害があっても、病気があっても、認知症でも、一人暮らしでも、住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域づくりを目指して、さまざまな取り組みが展開されています。そして、医療・介護・福祉という垣根を超えて、「地域まるごと」で支え合うコミュニティづくりの視点に立った共生社会が求められています。

第22回日本在宅ホスピス協会全国大会in山梨の
メインテーマ「支え、支えられ 自分らしく生きる」を受け、

県民公開講座では、

支え 支えられて、自分らしく最期まで 地域で「生きる」「暮らす」

のテーマに沿って5人のシンポジストから、発表をいただき、地域で生活し続ける人々とその家族へのよりよい支援体制づくりに向けて、会場も含めた意見交換を行います。

- 訪問看護の立場から 秋山 正子 氏
「暮らしの中で生き生きて逝くを支える」
- 在宅ホスピス医の立場から 内藤 いづみ 氏
「いのちの主人公のあなたを どう支えたらいいですか？」
- 保健福祉行政の立場から 古屋 好美 氏
「想いのマップ」で目指したい 地域まるごとの支え合いコミュニティ
- 地域住民の立場から 自治会長 込山 雅秀 氏
「住んで良かった町、上小河原に」を目指して ～見守りネットワークの活動・発展・変化～
- 社会学者の立場から 上野 千鶴子 氏

★ コメンテーター

「なんとめでたいご臨終」で
お馴染みの
小笠原文雄 氏

* 事前参加申込は不要、無料です。どなたでもご参加できます。
* お誘いあわせて多くの方のご参加をお願い致します。